

# 石木ダムの目的 ～県民の命と安全・安心な暮らしを守る～

## ① 洪水調節

## ② 水道用水の供給

## ③ 流水の正常な機能の維持

石木ダムは、川棚川の治水対策と佐世保市の利水対策を主な目的としています。



完成イメージ

## 事業の概要

- ダムの高さ：55.4メートル
- 総貯水容量：548万立方メートル
- 事業費：285億円
- 事業の進捗：約61%（約175億円）
- 完成予定：令和7年度

【ダム予定地】



## 過去の自然災害と事業の経過

### 川棚町の洪水被害と対策

- 昭和23年9月 浸水被害2,000戸
- 昭和31年8月 浸水被害801戸  
→川棚川の河川改修に着手
- 昭和42年7月 浸水被害128戸  
→野々川ダムの建設に着手
- 昭和47年 野々川ダム完成

### 昭和50年度 石木ダム建設事業着手

→地権者をはじめとする地域の方々へ事業への協力を求めて説明

- 平成2年7月 浸水被害384戸



川棚駅前交差点付近

洪水や渇水を機に話し合いが進展

### 佐世保市の渇水被害と対策

- 終戦後、旧海軍からダムを譲り受け運用したが、頻繁に給水制限を実施
- 昭和31年 川谷ダム完成
- 昭和43年 下の原ダム完成

- 昭和53年 給水制限 最大43時間断水・制限日数11日間(北部)
- 平成6年 給水制限 最大43時間断水・制限日数264日間(南部)

渇水対策に約50億円を投入(佐世保市)



散水車による水の輸送

### 平成9年度 地権者団体と損失補償基準締結 → 用地取得開始

約8割の皆様が事業に協力し、家屋や墓地を移転

- 平成17年 給水制限 減圧給水・8日間
- 平成19年 下の原ダムのかさ上げ
- 平成19年 給水制限 減圧給水・160日間

河川整備計画や環境影響評価、関係住民に対する説明会・意見交換会の実施などさまざまな機会を通じて説明

平成21年度 一部の方々からご協力いただかず、事業認定を申請

賛成・反対双方の20組が意見を述べる公聴会(国主催)など

平成25年度 事業認定の告示

地元公民館での県・佐世保市による説明会や知事による面談など

平成26年度 収用委員会へ裁決を申請

令和元年度 明渡裁決

約20回開催し、約2,000人へ説明

### 平成2年7月の水害(川棚町)



石木ダム建設予定地と浸水区域

### 平成6年の渇水(佐世保市)



転石ダム(佐世保市)の枯渇状況

窮状を伝える当時の新聞記事